

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【公表番号】特表2016-518714(P2016-518714A)

【公表日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-038

【出願番号】特願2016-507698(P2016-507698)

【国際特許分類】

H 01 L 51/46 (2006.01)

【F I】

H 01 L 31/04 1 6 6

H 01 L 31/04 1 6 8

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月21日(2017.2.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項42

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項42】

前記混合物は、前記少なくとも一つのアノード側の広エネルギーギャップ材料および前記少なくとも一つの正孔伝導材料を、体積比で10：1～1：10となる範囲の比率で含む請求項32に記載のデバイス。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

励起子阻止正孔フィルタは、アノードおよび少なくとも一つのドナー材料の間に配置され、少なくとも一つのアノード側の広エネルギーギャップ材料および少なくとも一つの正孔伝導材料を含む混合物を含む。少なくとも一つのアノード側の広エネルギーギャップ材料は、

- ・ HOMO_{D_{o_n}}以上である最高被占軌道エネルギー準位(HOMO_{A_{S-W_G}})と、
- ・ LUMO_{D_{o_n}}以下である、またはLUMO_{D_{o_n}}より0.3eVの範囲内で大きい最低空軌道エネルギー準位(LUMO_{A_{S-W_G}})と、
- ・ HOMO_{D_{o_n}}-LUMO_{D_{o_n}}のエネルギーギャップより広いHOMO_{A_{S-W_G}}-LUMO_{A_{S-W_G}}のエネルギーギャップと、を有する。